

朝鮮学校への支援は誰の為のもの？

朝鮮学校への高校無償化適用は、本当に生徒の為のものなのでしょうか？

政府は、「生徒への就学支援」としてはいますが、

北朝鮮労働党機関誌は「朝鮮学校への支援」であるとしています

“生徒への支援”と“朝鮮学校への支援” どこが違うのでしょうか

★ “生徒への支援” は文字通り、生徒(保護者)への授業料支援です

★ “朝鮮学校への支援” とは、朝鮮総連の事業の一環として位置づけられている朝鮮学校へ支援をするということであり、間接的に朝鮮総連＝北朝鮮本国を支援することになります

金正日総書記が

「総連の民族教育事業は愛国偉業の頼もしい継承者たちを育てる重要な事業」
と発言していることから 朝鮮学校は朝鮮総連の組織の一部であることは明らかです

このように 「生徒への就学支援で、朝鮮学校への支援ではない」とする

日本政府の主旨とは全く異なった、認識となっています

これでは、日本政府は北朝鮮を間接的に支援をすることになり、

拉致問題・核開発・ミサイル発射などに対して、軟化をしているという

誤ったメッセージを北朝鮮に伝えることになりかねません

朝鮮学校と朝鮮総連＝北朝鮮とが一体の関係である限り

税金から支援をすることが相応しいとはいえません

朝鮮学校の教育内容はどのようなものなののでしょうか



『現代朝鮮史』の教科書を少し覗いてみましょう

1. 一年生用＝朝鮮戦争について

米帝国主義のそそのかしのもとに、李承晩は一九五〇年六月二十三日から三八度線の共和国地域にたいする集中的な砲射撃をおこない、六月二十五日には全面戦争に拡大した。

共和国政府は即時李承晩「政府」に戦争行為をただちに中止することを要求しつつ、もしも侵攻をやめなければ決定的な対策をとるであろうと警告した。しかし敵どもは戦争の火を引き続き拡大した。

(現代史教科書 P79 より抜粋)

2. 二年生用＝金日成と金正日を美化

敬愛する金正日將軍様におかれては、朝鮮労働党中央委員会で活動されながらブルジョア・修正主義分子たちの正体を見抜かれ、彼らの策動を阻止するための対策をお立てなされた。 中略

全員会議を契機にブルジョア思想、修正主義思想などあらゆる不健全な思想を根こそぎにし、主体思想で武装するための活動が力強く展開された。

(P65～66 より抜粋)

3. 三年生用＝拉致問題について

アメリカでブッシュ政権の登場を契機に朝米関係は緊張状態に戻った。二〇〇二年九月朝日平壤宣言発表以後、日本当局は『拉致問題』を極大化し、反共和国、反総連、反朝鮮人騒動を大々的に繰り広げることによって日本社会には極端な民族排他主義的なふんいきが作り出されていった。 (P122 より抜粋)

日本国内に生活しながら、このような偏った教育内容を教え込むことで

共生社会を作り出す青少年が育つでしょうか

もちろん、生徒達には TV などから情報は入ってきます

民族のアイデンティティーと称して、嘘を教え込まれることは生徒にとっても苦し

いものにはならないでしょうか

